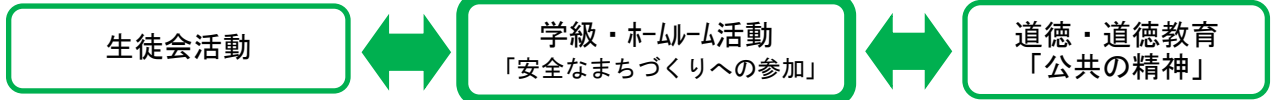


【中学校・高等学校】安全なまちづくりへの参加

◆カリキュラム・マネジメントの視点



◆ねらい 地域防災の現状について理解し、安全なまちづくりへ向けた取組について考えることができる。

◆展 開（1～2時間）

	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価
導 入	1 心のケアを受ける。（本手引P2参照） 2 安全なまちについて考える。 ★ 災害に強い、安全なまちとはどのようなまちだと思いますか。	○生徒の心身の状態に十分配慮する。 ○地域の現状を把握するために、事前にフィールドワーク等を実施しておくことも考えられる。 ○自分たちの住む地域や学校周辺等の状況から、安全なまちとはどのようなまちかを考えさせる。
	自分たちが住む地域を知り、安全なまちづくりのため、自分たちができることを考えよう。	
展 開	3 地域の防災について考える。 ★ ハザードマップと防災チェックリスト（資料）等を活用し、地域の防災について考えましょう。	○地域の自然環境、ハード面の整備状況、ソフト面の定着状況それぞれについて現状が把握できやすいように、ハザードマップや防災チェックリストなどの資料を活用する。 ◎自然環境やハード面の状況についてハザードマップの見方に関する視点を示す。 ◎ソフト面においては、熊本地震の経験からも、 <u>普段から地域の人とのかかわりについての視点を</u> 持たせる。
	4 安全なまちづくりのために自分たちができることについて考える。 ★ 自分たちの住む地域の状況を踏まえ、安全なまちづくりのために自分たちができることについて考えましょう。 (1) 個人で考える (2) グループで深める (3) 全体で交流する	○自分たちが地域の安全のためにできることについて考えられるよう、他県の中高生の取組等を紹介する。 ○ハード面等の課題については、関係機関等に提案することもできることを伝える。 ◆地域の状況から、安全なまちづくりのために自分たちができることについて考えている。 【思考・判断・表現】〈ワークシート〉
	5 本時のまとめをする。	◎今日考えたことを意識して生活することが、 <u>防災意識を高めるとともに、共助や公助の意識にもつながることを理解させる。</u>
ま と め	6 心のケアを受ける。（本手引P2参照）	○生徒の心身の状態に十分配慮する。

活用資料等

- ・各市町村のハザードマップ（各市町村HP）
- ・学校防災教育指導の手引P7～P21

ワークシート

()年()組()号 氏名()

めあて

- 1 災害に強い、安全なまちとはどのようなまちでしょう。

(自然環境、ハード面、ソフト面の観点から)

- 2 自分たちが住んでいる地域の防災について考えよう。

(自然環境、ハード面、ソフト面の観点から)

- 3 安全なまちづくりのために、自分たちができることについて考えよう。

ワークシート（記入例）

（ ）年（ ）組（ ）号 氏名（ ）

めあて

自分たちが住む地域を知り、安全なまちづくりのため、自分たちができることを考えよう。

1 災害に強い、安全なまちとはどのようなまちでしょう。

（自然環境、ハード面、ソフト面の観点から）

- 防災に関する施設が充実している。
- 過去の災害について多くの人が理解している。
- 防災訓練に多くの人が参加している。
- 地域住民の交流が深く、様々な行事に積極的に参加している。

2 自分たちが住んでいる地域の防災について考えよう。

（自然環境、ハード面、ソフト面の観点から）

- 私が住んでいる町では、過去に大きな津波の被害が起こっており、その他にも土砂災害や高潮災害が発生しやすい環境にある。
- 主要道路が、土砂災害などで通れなくなると支援物資が届きにくくなる。
- 防災倉庫や備蓄倉庫などの整備があまり進んでいない。
- 防災訓練は定期的実施されているが、参加する人が固定化している現状がある。
- 自主防災組織率が高く、防災について積極的な取組がなされている。

3 安全なまちづくりのために、自分たちができることについて考えよう。

- 大きな災害が発生した場合、主要道路が寸断されるかもしれないため、食料などを備蓄しておく必要があると思った。このことを地域に呼びかけ、備蓄を推進する活動を考えていきたい。
- 地域の防災意識を高めるためにも、積極的に地域の防災訓練に参加するようになりたい。
- 地域の現状について、もっと詳しく調べ、防災倉庫や備蓄倉庫の設置について関係機関に提案していきたい。
- 今までは、地域の行事に参加することはほとんどなかった。地域の方々と日頃から交流を深めておくことが、災害時に大きな力となることが分かったので、地域の方々との触れ合いを大切にしたい。

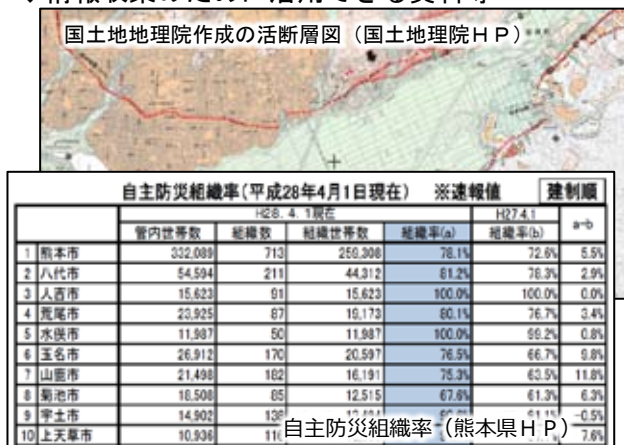
資料

◆住む地域や学校周辺、通学路の防災チェックリスト例

★災害の地域特性や生徒の実態に応じた項目をいくつか設定しましょう。

	項目	確認事項	活用資料等
自然環境	1 過去の自然災害	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()	本手引
	2 地震の震度想定	震度想定 ()	
	3 津波災害の想定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (津波波高 m)	
	4 火山災害の想定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (被害)	
	5 液状化の想定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (場所 周辺)	
	6 土砂災害の想定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (場所)	
	7 洪水災害の想定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (河川名)	
	8 高潮災害の想定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (地域)	
	9 その他の自然災害	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (災害名)	
	10 自然の恵み	(具体的に)	
ハード面	1 避難所	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (箇所)	地域の防災マップ等
	2 消防署	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (箇所)	
	3 警察署	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (箇所)	
	4 医療機関	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (箇所)	
	5 防災備蓄倉庫	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (箇所)	
	6 防災設備 (無線、非常用発電)	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (箇所)	
	7 避難経路 (道路や橋)	リスク <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()	
	8 主要道路	リスク <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (場所)	
	9 地震による建物被害危険度	リスク <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (場所)	
	10 その他		
ソフト面	1 地域のハザードマップ	<input type="checkbox"/> 災害種 ()	関係機関等HP
	2 自主防災組織	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (組織率)	
	3 防災訓練の実施	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (回/年)	
	4 地域行事の実施	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (回/年)	
	5 地域住民同士の交流	<input type="checkbox"/> 活発でない <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 活発	
	6 防災啓発活動	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (具体的に)	
	7 ボランティア活動	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (具体的に)	
	8 住民による清掃活動	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (回/年)	
	9 地域住民と関わる機会	<input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> 多い	
	10 その他		

◆情報収集のために活用できる資料等



【中学校・高等学校】 避難所ケース学習

◆カリキュラム・マネジメントの視点

学校行事「避難訓練」

学級・ホームルーム活動
「避難所ケース学習」

道徳・道徳教育
「思いやり」

◆ねらい 人には様々な意見や価値観があることに気付き、多様な人々の視点に立って考え、判断する力を身に付ける。

◆展 開（1時間）

	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価
導入 5分	<p>1 心のケアを受ける。（本手引P 2 参照）</p> <p>2 避難所について理解する。</p> <p>★ 熊本地震の際、避難所ではどのような課題があったと思いますか。</p> <p>★ 避難者が安心して過ごせる避難所にするにはどのような配慮が必要かを考えていきましょう。</p>	<p>○生徒の心身の状態に十分配慮する。</p> <p>○避難所は、ストレスを抱える様々な人々が、限られた生活物資の中で共同生活を送る場であるために、様々な課題が生じやすいことを理解させる。</p> <p>○避難所の写真を見せ、多様な人々の存在に気付せるとともに、熊本地震ではどんな問題が起こったか想像させる。</p> <p>◎誰でも支援が必要となる時がある（来る）ことを理解させ、様々な人々に配慮した対応が、自分を含め、誰にとってもより過ごしやすい避難所生活につながることに気付かせる。</p>
<p>避難所で起こった事例をもとに、様々な人々に配慮した対応を考えよう。</p>		
展開 40分	<p>3 場面ごとに対応を考え、発表する。</p> <p>（1）個人で、登場人物の気持ちを考え、その後グループ内で話し合う。</p> <p>（2）指定された人物の視点に立って、対応についてを話し合う。</p> <p>（3）グループの代表者が、全体に向けて話し合った対応を発表する。</p>	<p>○生徒の実態に合わせて、取り扱う場面及びワークシートの内容、時間配分などを調整する。</p> <p>◎様々な人々に配慮した対応策になっているか、必要に応じて声かけを行う。</p> <p>◎意見が異なった時は、なぜお互いが違う意見を持つに至ったかを共に探る「協力者」として促えるよう助言する。</p>
まとめ 5分	<p>4 学習の振り返りを行う。</p> <p>5 心のケアを受ける。（本手引P 2 参照）</p>	<p>◆様々な人々に配慮した、対応を考えている。 【思考・判断・表現】〈観察・ワークシート〉</p> <p>○他のグループの発表やグループ内での話し合いを振り返り、感じたりしたことを発表させる。</p> <p>◎発表の良かった点を挙げ、様々な人々への配慮が、避難所生活だけでなく、誰にとっても過ごしやすい社会生活につながることを理解させる。</p> <p>○生徒の心身の状態に十分配慮する。</p>

活用資料等

・熊本地震に係る避難所の画像

ワークシート

()年 ()組 ()号 氏名()

めあて

【 場面 () 】

1 登場人物の気持ちを考えよう

① 「	」
② 「	」
③ 「その他のあなたが気になる人」 = 「	」

2 その時、あなたならどうする？

もしあなたが「

」だったら・・・

--

3 振り返りをしよう

--

資料

場面 1			
状況	ある避難所では、地震後しばらくして、支援団体から女性専用トイレを寄付したいという申し出がありました。設置したところ、数日後に女性だけ特別扱いをするのはおかしいというクレームが寄せられました。		
人物	登場人物①	登場人物②	もしあなたが「〇〇」だったら
	女性の避難者	男性の避難者	避難所の責任者
場面 2			
状況	地震後、ある避難所では備蓄していた食料が底をつき、テント前には配給を何時間も待つ避難者が長蛇の列を作っています。翌日、ようやくパンが届きましたが、数が足りず、避難者全員に配ることができません。その避難所のマニュアルには、物資が足りない場合は、要配慮者（子どもや妊婦、高齢者、障がいのある人、外国人観光客等）から配付することとなっています。		
人物	登場人物①	登場人物②	もしあなたが「〇〇」だったら
	何時間も列に並んでいる人	事情で列に並べない人	避難所の責任者
場面 3			
状況	深夜に起こった地震の直後、ある避難所には沢山の人が詰めかけ、建物内に入れず駐車場で多くの人が野宿しています。しばらくして避難所内には、「近くの動物園からライオンが逃げたらしい。」という噂が広まり、駐車場にいた大勢の人々が建物の中に入ろうとして、入り口は大変危険な状態になっています。		
人物	登場人物①	登場人物②	もしあなたが「〇〇」だったら
	建物内に避難している人	駐車場に避難している人	避難所の責任者
場面 4			
状況	ある避難所では、食料提供の情報が放送でしか知らされず、聴覚障がいのある避難者の中には、今まで一度も食料を受け取ることができていない人がいます。たまらず避難所の運営責任者に、張り紙による情報提供を依頼しましたが、「今は2、3人のための対応できない。」と断られてしまいました。避難所には大変多くの避難者が詰めかけ、職員にも全く余裕がない様子です。		
人物	登場人物①	登場人物②	もしあなたが「〇〇」だったら
	不眠不休の運営責任者	健常者である避難者	聴覚障がい者
場面 5			
状況	ある晩、避難所の体育館に、ペット連れの高齢者が避難してきました。係の人が事情を尋ねたところ、その高齢者がこれまで家族同然のペットと車中泊を余儀なくされてきたこと、昨日から足が腫れて痛むなど、エコノミー症候群のような症状が出ていること、自宅も全壊して他に身を寄せる場所もないことが分かりました。		
人物	登場人物①	登場人物②	もしあなたが「〇〇」だったら
	ペット連れの高齢者	動物アレルギーのある避難者	避難所の責任者
場面 6			
状況	地震後、Aさんが入居した仮設住宅では、県外からボランティアが訪れ、炊き出しや子どもの心のケアなど様々な活動が行われています。Aさんも先週カウンセリングを受けており、今日も同ような支援の申し出がありました。		
人物	登場人物①	登場人物②	もしあなたが「〇〇」だったら
	県外からのボランティア	Aさん	仮設住宅ボランティア対応の担当者

指導上の留意事項

場面 1

話し合いを通して、「平等」「不平等」という言葉を誤解なく使うためには、「何を等しくするのか」について共通に理解しておく必要があることに気付かせたい。この状況では、「男性と女性のトイレの数」を等しくするのか、「(混雑時に)男性と女性がトイレを使用できる機会・回数」を等しくするのかを共通理解するよう声掛けする。あるいは、平等な支援が必ずしも平等な機会をもたらさないことを理解した上で、話し合いが進むようにする。発達段階に応じて、平等(equality)と公平(equity)の違いについて考えさせてもよい。

場面 2

ある避難所では、避難者数よりも少ない物資しかない場合、マニュアルでは子どもや高齢者にといいうことになっているが、実際は数人で1つを分けるといった対応をした。一方、同様のケースで、並んだ順に配付した避難所もあったが、この場合は後から配れなくなった。生徒たちには、どのような対応をしたらよいかを話し合わせたい。

場面 3

時間が限られた中で難しい判断をしなければならない場面を想像させ、避難所運営の難しさを実感させたい。なお熊本地震では、前震発生直後に「動植物園からライオンが逃げた。」という誤報がインターネットに流れた。インターネット上に限らず、私たちが見聞きする情報の中には不正確なものが含まれている。話し合いを通して、日頃からより信頼できる情報源を確保したり、正しい情報を見極めたりすることの大切さについても気付かせたい。

場面 4

話し合いを通して、生徒たちには要配慮者(①心身障がい者(肢体不自由者、知的障がい者、内部障がい者、視覚・聴覚障がい者) ②認知症や体力的に衰えのある高齢者 ③日常的には健常者であっても理解力や判断力の乏しい乳幼児 ④日本語の理解が十分でない外国人 ⑤一時的な行動支障を負っている妊産婦や傷病者など)の存在に気付かせる。そして、そうした人々に配慮することが、今もしくは将来の自分も含めて、誰にとっても過ごしやすい生活につながっていくことを理解させたい。また、避難所では、避難者による自治的な避難所運営や協力が求められることがあり、その中には自分たちにもできることがあることにも気付かせたい。

場面 5

熊本地震では、避難所におけるペット同行避難者の受入れ態勢が不十分で、ペット同行避難者が車中泊などを余儀なくされるケースが発生した。また、車中泊していた避難者がエコノミークラス症候群のために亡くなった事例もあった。このような問題が絡んだ難しい状況であるが、生徒たちからは、様々な立場の人が歩み寄って納得できるような改善策を引き出したい。

場面 6

ある仮設住宅では、入居者がボランティアに気を遣いすぎて、疲れてしまうという事例があった。相手を大切にせず自分で自分の気持ちを抑えてしまうのではなく、断る選択肢があることや相手も自分も大切に自己表現の大切さを理解させたい。また、ボランティアを地域で受け入れる環境・知恵などを意味する「受援力」という言葉を紹介し、ボランティアの力をうまく引き出すためには、被災地側からの働き掛けも大切であることにも気付かせたい。

【中学校・高等学校】 避難所運営ラーニング

◆カリキュラム・マネジメントの視点

総合的な学習の時間
「自己の在り方生き方を考える」



学級・ホームルーム活動
「避難所運営ラーニング」



道徳・道徳教育
「思いやり」

◆ねらい 避難者の視点に立った学習を通して、日頃から地域に関心を持っておくことの重要性に気付くとともに地域社会に貢献していこうとする態度を身に付けることができる。

◆展 開（2時間）

	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価
導 入	1 心のケアを受ける。（本手引P2参照） 2 平成28年熊本地震を振り返る。	○生徒の心身の状態に十分配慮する。 ○平成28年熊本地震について「知っていること」を記入させるとともに本手引P3からを活用し、避難所運営の重要性について確認する。
	どのような配慮をすれば、避難者が安心して過ごせるか考えよう。	
展 開	3 避難所運営ラーニングに取り組む。 (1) 避難所に最低限必要な機能（場所）の配置を考える。 (2) 提示された「避難者カード（避難者の情報が書かれたもの）」、「ライフカード（食料・物資が書かれたもの）」の内容を確認しながら、適切な支援になるよう、カードを配置・配付していく。 （カード全てを使う必要はありません）	○避難所運営ラーニングの概要を説明し、2つの約束を確認する。 ・友だちの意見を否定しないこと。 ・考えの違いを認めること。 （避難所運営ラーニングの進め方参照） ○受付、通路（避難者の動線確保）、必要なスペースを体育館のどこに設置するか考えさせる。 ○各班のアイデアを共有させることで、思考が広げられるよう支援する。 ○カードの配置について、スムーズな話し合いができていないグループには、避難者スペースを地区や要配慮者で分ける等の視点を与える。 ○食料・物資の配付の仕方について考えさせる。 ◎対応に正解はなく、避難所の状況を想像し、話し合いながら、よりよいアイデアを生み出していくことが大切であることを伝える。
ま と め	4 避難所運営ラーニングを振り返る。 5 心のケアを受ける。（本手引P2参照）	◆日頃から地域に関心を持ち、つながりをつくっておくことの重要性について考えている。 【思考・判断・表現】<観察 ワークシート> ○生徒の心身の状態に十分配慮する。

活用資料等

- ・避難者カード及びライフカード
（班の数コピーし、1枚ずつに切り分ける。その後、番号順に重ねておく。）
- ・広用紙
- ・通路作成のためのマスキングテープ（鉛筆で書きこませてもよい）
- ・縦横5cm程度の付箋（色付きがよい）

※うつくしまふくしま未来支援センターこども支援部門の教育手法を参考に作成

ワークシート

()年()組()号 氏名()

めあて

平成 28 年熊本地震を振り返ろう。



◎ 避難所運営ラーニングを通して、あなたが気付いたことや、日頃から心がけたいことを書きましょう。

Blank area for writing answers.

【避難所運営ラーニング】の進め方

1 【はじめに】



避難所運営ラーニングとは、避難所で避難者が安心して過ごすためには、どのような配慮が必要かを話し合いながら、様々なことを学んでいく学習です。

話し合いに関しては、次の2つを心掛けましょう。①友だちの意見を否定しないこと
②考えの違いを認めること 【板書する】



それでは始めます。大災害が発生しました。たくさんの人々が学校の体育館に避難し始めています。部活動で登校していた皆さんは、避難してきた人を体育館に案内する必要があります。

避難してきた人をよりよい場所に案内するために、どうしたらよいか班で話し合いながら進めていきます。

2 【体育館の配置図を作る】（広用紙、マスキングテープ、付箋紙を使用）



配っている広用紙を開いてください。これが体育館です。皆さんがまずやることは、「出入口」と「受付」を作ることです。

まず、「出入口」を作ってください。次に、付箋紙に「受付」と書いて、受付をするのに適した場所を話し合っ決めて、広用紙に貼ってください。それでは始めてください。



【班での話し合いへの指導】

机間支援をしながら、各班に受付を配置した理由を聞きながら、根拠をもつことの大切さや違った考え方があることに気付かせます。

例：この班は「受付」を体育館の真ん中に作りました。どうしてですか。この班は「受付」を2つ作りました。どうしてですか。等



「受付」だけでもいろいろなアイデアがありますね。次に、マスキングテープで「通路」を作ります。（テープが無ければ鉛筆でも可）また、受付以外に「必要なスペース」があると判断したら、付箋紙に書いて体育館に設置してください。（例えばトイレ等）



より良い方法を見つけていくためには、グループで意見を出し合いながら、伝え合うことが大切であることに気付かせます。このことを、避難者カードを配置する学習にもつなげていきます。

3 【避難所運営ラーニング】（避難者カード、ライフカードを使用 ※切ったものを配付）



いよいよ避難者を受け入れます。【避難者カード】と【ライフカード】の2種類のカードを使います。

【避難者カード】には、名前、住所、年齢等、その人の情報が書かれています。

また、【ライフカード】には、おにぎり、粉ミルク等の支援物資が書かれています。

先生が順番にカードの情報を読み上げていきますので、班で話し合いながらより良い場所に避難者を案内してください。



避難者カードに示されている情報について、話し合いの視点を与えながら進めていきます。避難者カードは番号順に提示していきます。

(例) まず、カード①～③のネギさん3人家族をどこに案内するか話し合ってください。

ネギさんの娘さんには、食物アレルギーがありますね。

さあ、体育館のどこに案内しますか。これからいろいろな人が避難所にやってくることを想像しながら話し合ってください。

……次は④レンコンさんです。レンコンさんは、防災型コミュニティ・スクール住民代表です。何かお願いできそうですね。どこに案内しますか。

等

生徒が、避難者の状況をイメージできない場合には、避難者が抱える「困り感」を伝えます。



ライフカードには支援物資の情報を掲載しています。カタカナの記号で示しています。

(例1) 【ライフカード㊦】はおにぎり10個です。

誰に渡しますか。渡す相手と話し合っ、避難者カードの下に㊦と鉛筆で書いてください。

(例2) 【ライフカード㊩】には、ミルク5缶と書かれてあります。避難者のだれに渡すか、話し合ってください。(いくつかの考えを引き出します。)



※本学習は、「生徒が考えを出し合い、よりよい方法を見付けていくこと」が大きな目的となりますので、話し合う時間を十分確保することが大切です。そのため全てのカードを使い切る必要はありません。

4 【まとめ】



















今日は、色々なことについて話し合いましたが、「こうしなければならない」といった正解はありません。皆さんがそれぞれの立場で考え、学んだことを今後の生活に生かしていただくことが大切です。


避難所は、地域そのものでもあります。日頃から地域の人々と関わりを持ち、地域の人を理解しておくことが災害発生時にも大きな力となります。

ワークシート記入例【生徒の感想】

- ・避難所の支援をする際、事前にルール of 徹底をしておく必要があると感じた。
- ・いろいろな町から避難者は来るかもしれないので、まずは、近所の人と一緒にいられるように避難者を案内すればよかった。
- ・もし、本当に避難所の支援を行う場合は、避難者の状況をしっかりと把握し、避難者が安心してもらえる場所に案内できるようにしたい。
- ・日頃から、誰に対しても公平に対応できるようにしておきたい。
- ・地域の一員として、日頃から近所付き合いを大切にしたい。
- ・日頃から地域の人々との関わりを持ち、理解しておくことが、災害時に大きな力になると思った。これから地域との関わりを積極的につくっていこうと思う。

<避難者・ライフカード>

<p>ネギさん 住所：北町 世帯主・男／27歳</p> <p>①</p> 	<p>ネギさん 住所：北町 妻／25歳</p> <p>②</p> 	<p>ネギさん 住所：北町 長女／5歳 食物アレルギー</p> <p>③</p> 	<p>レンコンさん 住所：南町 男／54歳 防災型コミュニティ・ スクール住民代表</p> <p>④</p> 
<p>リンドウさん 住所：東町 世帯主・女／67歳 民生委員</p> <p>⑤</p> 	<p>カスミさん 住所：帰宅困難者 女／38歳 出張のため土地勘が ない</p> <p>⑥</p> 	<p>ピーマンさん 住所：西町 世帯主・女／73歳 車いす生活</p> <p>⑦</p> 	<p>イグサさん 住所：南町 世帯主・男／56歳 動物に対してアレル ギーがある</p> <p>⑧</p> 
<p>カキさん 住所：北町 世帯主・男／76歳 腰が痛い</p> <p>⑨</p> 	<p>デンガクさん 住所：東町 世帯主・女／27歳 長女／生後8か月 安心して授乳できるス ペースがほしい</p> <p>⑩</p> 	<p>バンペイユさん 住所：南町 男／10歳 地震当時両親は仕事で 不在、1人で避難して きた</p> <p>⑪</p> 	<p>ユズさん 住所：西町 女／47歳 介護施設のスタッフ</p> <p>⑫</p> 
<p>クルマエビさん 住所：北町 世帯主・男／57歳 猫を連れてきている</p> <p>⑬</p> 	<p>キュウリさん 住所：東町 男／46歳 インフルエンザの疑い あり</p> <p>⑭</p> 	<p>マダイさん 住所：北町 世帯主・女／67歳 着替えをする場所がほ しい</p> <p>⑮</p> 	<p>ダイコンさん 住所：南町 女／31歳 妊婦</p> <p>⑯</p> 

<p>おにぎり 10食分</p> 	<p>ア Ms. ライムさん 海外旅行者 外国人・女／32歳 日本語が話せない</p> <p>17</p> 	<p>クリさん 住所：西町 女／37歳 薬剤師</p> <p>18</p> 	<p>トウフさん 住所：北町 世帯主・男／57歳 目が不自由で盲導犬 と一緒に避難</p> <p>19</p> 
<p>デコポンさん 住所：北町 男／26歳 仕事現場から直接避難 家族の安否を気にしている</p> <p>20</p> 	<p>アゲさん 住所：東町 世帯主・男／33歳 救急救命士の資格あり</p> <p>21</p> 	<p>ワタリガニさん 住所：西町 世帯主・男／42歳 脚を骨折している</p> <p>22</p> 	<p>トマトさん 住所：西町 世帯主・女／55歳 コミュニケーションをとる のが苦手</p> <p>23</p> 
<p>オチャさん 住所：南町 世帯主・男／87歳 頻尿</p> <p>24</p> 	<p>コチョウランさん 住所：西町 女／49歳 介護施設のスタッフ</p> <p>25</p> 	<p>タカナさん 住所：東町 世帯主・男／63歳 持病の薬が家の倒壊 でなくなった</p> <p>26</p> 	<p>アジさん 住所：南町 男／51歳 猫を連れてきている</p> <p>27</p> 
<p>粉ミルク5缶</p> <p>イ</p> 	<p>ヒゴギクさん 住所：南町 世帯主・女／43歳 (長男は自閉症のある子ども、 車で避難してきた)</p> <p>28</p> 	<p>ヒゴギクさん 住所：南町 長男／15歳</p> <p>29</p> 	<p>アオノリさん 住所：南町 世帯主・女／45歳 通訳</p> <p>30</p> 

オクラさん
住所：東町
男／14歳
家が全壊し1人で避難してきた（両親は県外出張中のため不在）



③1

介護用紙おむつ6袋



ウ

トウモロコシさん
住所：西町
男／83歳
介護施設からの避難者
足が不自由



③2

サラタマさん
住所：北町
女／48歳
防災士



③3

バサシさん
住所：東町
世帯主・男／54歳



③4

バサシさん
住所：東町
妻／55歳



③5

バサシさん
住所：東町
長男／16歳
流動食が必要な特別支援学校に通う生徒



③6

ニンジンさん
住所：南町
女／20歳
医療系の専門学校生



③7

アイリスさん
住所：西町
女／42歳
地震により精神的に落ち着かない



③8

歯ブラシとマスク10セット



エ

高校のバレーボールチーム
高校生・男メンバー1



③9

高校のバレーボールチーム
高校生・男メンバー2



④0

高校のバレーボールチーム
高校生・男メンバー3



④1

高校のバレーボールチーム
高校生・男メンバー4



④2

キャベツさん
住所：西町
男／13歳
避難する際に足裏にけが

















④3

コンブさん
住所：東町
世帯主・男／27歳
犬を連れてきている



④4

<p>コンブさん 住所：東町 妻／34歳</p> 	<p>コンブさん 住所：東町 長男／8歳 腹が痛い</p> 	<p>コンブさん 住所：東町 次男／4歳 余震におびえている</p> 	<p>イルカさん 住所：西町 世帯主・女／48歳 特別支援学校教師</p> 
<p>イチゴさん 住所：東町 世帯主・女／67歳 薬は持参しているが飲み 合わせが分からない</p> 	<p>トビウオさん 住所：東町 女／19歳学生 足が不自由</p> 	<p>ブルーベリーさん 住所：北町 女／8歳 親とはぐれ泣き止まない</p> 	<p>ジャガイモさん 住所：北町 世帯主・男／87歳 要介護者</p> 
<p>ジャガイモさん 住所：北町 妻／80歳</p> 	<p>チクワさん 住所：東町 女／31歳 インシュリンの自己注射が 毎日必要（持参している）</p> 	<p>スイカさん 住所：北町 世帯主・女／79歳 静かなところにいたい</p> 	<p>タイピーエンさん 住所：北町 世帯主・女／30歳 外国人</p> 
<p>タイピーエンさん 住所：北町 長男／6歳 ケガをしている</p> 	<p>ソーメンさん 住所：南町 男／72歳 歯が弱く固いものが食べ られない</p> 		

※空欄のカードはライフカードの予備です。必要と思われる物資名を記入して活用してください。